



国際サシバサミット関連企画

フィリピン サシバ保護 エコツアー

フィリピン各地から
数千羽のサシバが
集まります!



2019
3.17(日)-22(金)



サシバ保護の代表地ルソン島で
バードウォッチングと
文化交流を楽しもう!



渡りをするタカとして知られ、国の絶滅危惧種にも指定されているサシバ。彼らの主要な越冬地の一つであるフィリピン、ルソン島北部では2017年まで年間5000羽に及ぶ密猟が確認されていました。

しかし、アジア猛禽類ネットワークを中心とした日本からの支援と、地元のラプターウォッチネットワークフィリピンの活躍により、2017年に密猟はなんとほぼゼロに。

今後密猟の根絶を地域に定着させるためには、サシバの繁殖地である日本とフィリピンの市民レベルの交流が必要不可欠です。3月のツアー時期、繁殖地へ向かうためフィリピン各地から集結するサシバの飛翔はまさに圧巻!さらに様々なフィリピン固有の野鳥の姿を楽しむことができる熱帯雨林でのバードウォッチングも予定しています。地域の方々のおもてなしと、たくさんのフィリピン料理はもちろんお墨付きです。サシバの保護を行いながら熱帯雨林でバードウォッチングを楽しむ、本物のエコツアー。ぜひご参加ください!

国際サシバサミット

アジア猛禽類ネットワーク、日本野鳥の会、日本自然保護協会などが共催する、サシバの保護に向けたサミット。サシバの保全や各主要地域の未来について、国内外の越冬地、中継地、繁殖地が意見を交わす国際イベントです。第1回目のサミットは、2019年5月25、26日に日本有数の繁殖地である栃木県市貝町で開催されます。2020年に中継地代表の沖縄県宮古島市、2021年には越冬地のフィリピンで開催予定です。

■日程

2019年3月17日(日)～22日(金) (6日間)

■定員:18人(最少催行人員14人)

■費用:309,000円

(燃油サーチャージ・空港利用料・海外空港税は別途)

※お一人部屋使用追加料金は、60,000円

■お申し込みはこちら

アルパインツアーサービス(株)ネイチャリングツアー事業部

(観光庁長官登録旅行業第490号)

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-11 第7東洋海事ビル4階

電話:03-3503-2611(代)

ファックス:03-3503-2613

E-mail: info-nature@alpine-tour.com

■主催企画

アジア猛禽類ネットワーク、(公財)日本野鳥の会、(公財)日本自然保護協会



■コース予定

3月17日(日) 成田空港または関西空港→マニラ→ルソン島北部(ラオアグ空港)

宿泊:ラオアグ市

3月18日(月) ノースウェスタン大学サシバモニタリング調査視察、アダムス村でのバードウォッチング

宿泊:バガッドパッド市

3月19日(火) サンチェスマラ市市長との懇談、山間部の先住民族の小学校訪問、山間部熱帯雨林でのバードウォッチング

宿泊:サンチェスマラ市

3月20日(水) クラアベリアの熱帯雨林、パンブローナ市でのニッパヤシマングローブ観察と周辺でのバードウォッチング他

宿泊:サンチェスマラ市

3月21日(木) ラオアグ周辺でのバードウォッチング、夜にラオアグ国際空港→マニラ

宿泊:マカティ市(マニラ郊外)

3月22日(金) マニラ→成田空港または関西空港

■ツアーで見られる鳥類(予定)

アカノドカルガモ、サイチョウ類、フィリピンカンムリワシ、サシバ、フィリピンクマタカ、フィリピンヒメハヤブサ他100種ほど